

昼の道 Mitake

「あつと訪夢」で小物づくりをするおばあちゃん
高齢者の方にも充実した毎日
を過ごしてほしいとつくられた施設。物づくりやレクリエーション、地域の人との交流会などが行われ、いつも笑顔があふれています。



ふれあいバスを利用して移動する高齢者
身近で便利だと好評のバス。他の公共交通機関より細かく停留所があるため、足腰に不安のある高齢者でも安心です。



色とりどり

きれいな缶を作るのは、高齢者いきがい活動支援センター「あつと訪夢」の利用者のみなさん。手先は器用なはずなのに、慣れない作業に四苦八苦。だんだん笑いがこみ上げてきたようです。

「あつと訪夢」をはじめ、御高町の福祉保健施設は、高齢者や障害を持った方たちの「元気」を応援しています。

また、町内を巡回する「ふれあいバス」は、特に高齢者の方々の大切な交通手段。

「今日はいい天気ですね」
見知らぬ人と車内で交わす会話も、楽しみの一つです。今日もたくさんの人たちが、バスを使って病院やスーパーへと向かっています。

小学校

では給食の時間、班ごとに机をくっつけて、にぎやかに食事を始めます。4時間目から「くっくっ」お腹を鳴らしていた子どもたちにとって、給食はなにより「ごちそう」。今日のメニューは、地元食材を使ったお味噌汁や煮物です。一気に食べ終えた男の子たちは、昼休みにするサッカーのことを考えて、早くもソワソワし始めています。常にパワー全開の子どもたちは、汗びっしょりになるまで遊んだあとで、午後の授業に向かうのでしよう。「これから何が起こるかな、そんなワクワクをたっぷり含んだ、丸い瞳が輝きます。」



学校給食の様子
御高町は地産地消を積極的に取り入れ、「おいしくて安全・安心な給食づくり」に動んでいます。



工業団地で働く社員
「グリーンテクノみたけ」を中心に、無公害、地元雇用、研究開発型の企業が集合。自然と産業との共生を目指しながら、高品質の製品が生み出されています。

様々な企業

団地「グリーンテクノみたけ」では、たくさんの方が働いています。例えば大きな音がする機械が次々に製品を生み出しているこの工場では、品質検査に余念がありません。機械と人が協働体制をとって「良いもの」と「新しいもの」をつくり続けているのです。

もちろん会社に行くばかりが仕事ではありません。お年寄りをはじめ地域の人はタオルや手拭いをお供にして、毎日畑に出かけます。手間と愛情をたっぷりかけてつくった農作物は、おいしいことまちがいない。四季を通じて畑では野菜が収穫できます。



農作業をするおばあちゃん
自然豊かな土地柄を生かして、農業も盛んに行われています。毎日の食卓に、自分で育てた野菜が並ぶ家庭もいっぱい。

頬を撫でるさわやかな風
町中を包む笑顔と活気